

～ 産まれてきてくれてありがとう ～

私たちは不妊治療の中で命の尊さを感じ、この世に生を受けた子どもはどの子にも幸せになってほしいと思い、里親になりました。

子どもとは2歳で出会い現在は3歳。初めて対面した時「なんて主人に似ているのだろう」と不思議な縁を感じました。初めての外出はこわばった表情で、私たちの車に乗るのも怖がりしました。何回も面会を重ねていくうちに、いつもあっさりと職員の元に戻っていく子どもが、「バイバイ。またね。」と言うと急に泣きだし、後追いをした時には親になる喜びを感じ涙しました。

子どもの成長はめざましくて、オムツをしていたのに今はトイレも一人で行き、お父さんを真似て立ったままおしっこをする練習をしています。「汚れるー。やめてー。」って感じなのですが、日々子どもの成長を目にすることは、なんと幸せで、心和むことでしょうか。里親にならなければ味わうことが出来なかった思いです。

子どもが我が家に来てからは両親や周りの方々との絆も深まり、毎日たくさんの幸せをもらっています。「産まれてきてくれてありがとう。」と毎日ギュッとしています。この言葉を言うと、前はただ嬉しそうな顔をして私に抱きついてきていたのですが、最近は「お母さんも産まれてきてくれてありがとうね。」と、はにかみながら目を見て言葉をかけてくれます。